2021 年 6 月 16 日

野生動物（鹿・熊）による列車運行への影響について

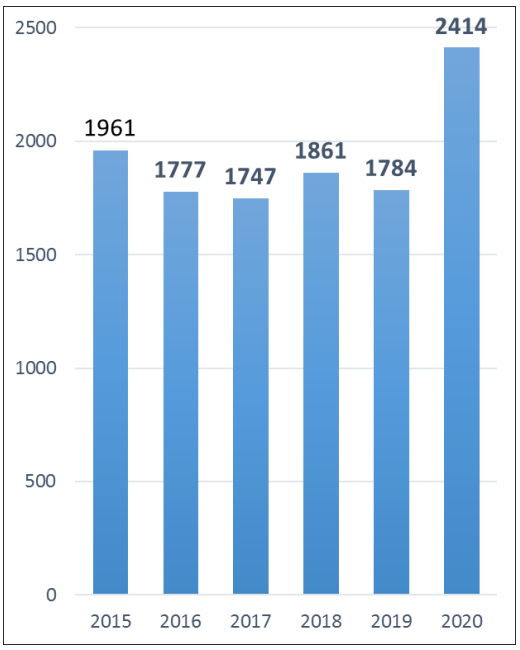
近年、線路内に侵入する鹿や熊を発見・衝突したことにより、列車に遅れや運休を生じる事象が数多く発生しており、2020 年度は鹿及び熊との衝突件数が JR 発足後最多となりました。ここ数年の統計をまとめましたのでお知らせいたします。

1．本社・支社各年度別　鹿衝突件数について

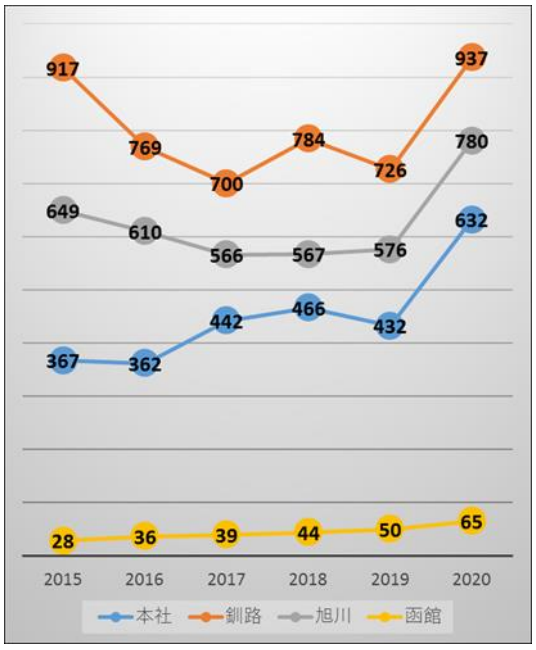
年度	本社						釧路				旭川			函館	計	増減
	本社計	山線	千歳	室蘭	石勝	根室①	釧路計	釧網	花咲	根室②	旭川計	宗谷	石北	函館計		
2015	367	19	49	59	70	114	917	286	489	140	649	404	197	28	**1961**	
2016	362	34	56	93	45	77	769	250	412	107	610	413	147	36	**1777**	△ 184
2017	442	49	75	88	91	86	700	196	341	162	566	403	123	39	**1747**	△ 30
2018	466	34	84	92	126	84	784	212	390	179	567	360	152	44	**1861**	114
2019	432	43	78	100	73	80	726	236	327	161	576	375	162	50	**1784**	△ 77
2020	632	52	81	152	125	118	937	279	372	285	780	457	248	65	**2414**	630
平均	450	39	71	97	88	93	806	243	389	172	625	402	172	44	1924	

（※山線　小樽～目名、根室①　滝川～上落合、花咲　釧路～根室、根室②　上落合～釧路）

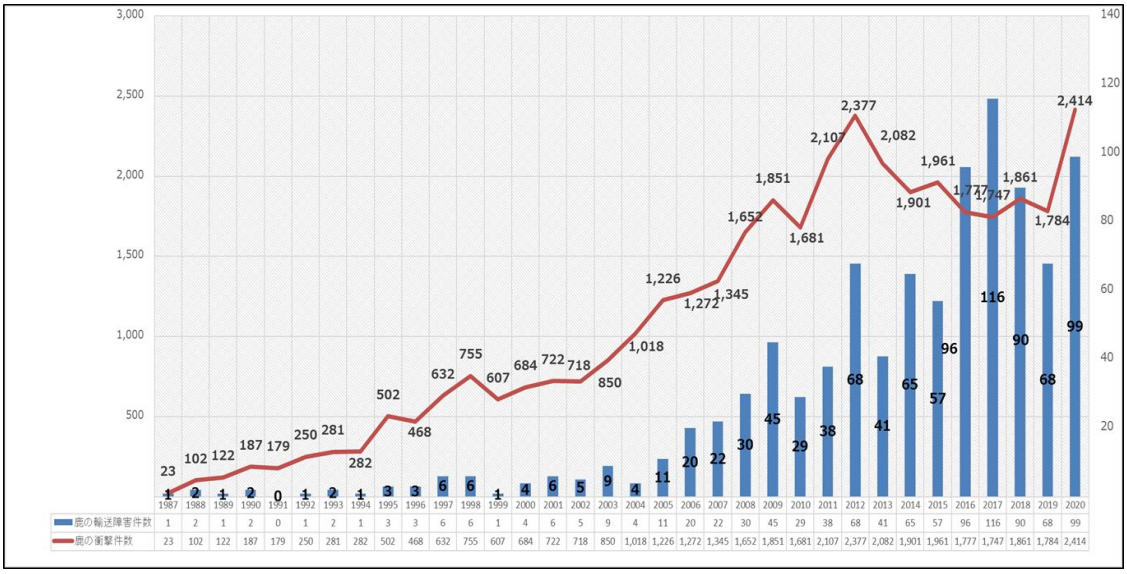
・2020 年度は各線区が概ね増加傾向となり、ＪＲ発足後最多の衝突件数となりました。
・直近 6 年間、全て釧路支社管内での発生件数が最多となっています。



＜年度別　鹿衝突件数（全体）＞



＜年度別　鹿衝突件数（本支社別）＞

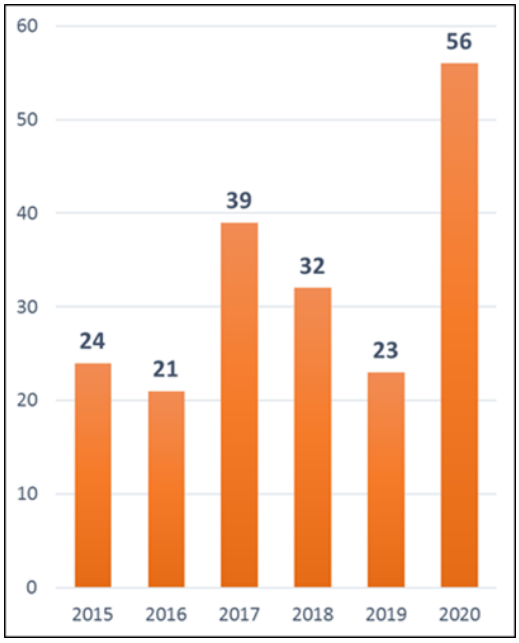


＜参考：ＪＲ発足後からの年度累計グラフ（輸送障害は発見等含む）＞

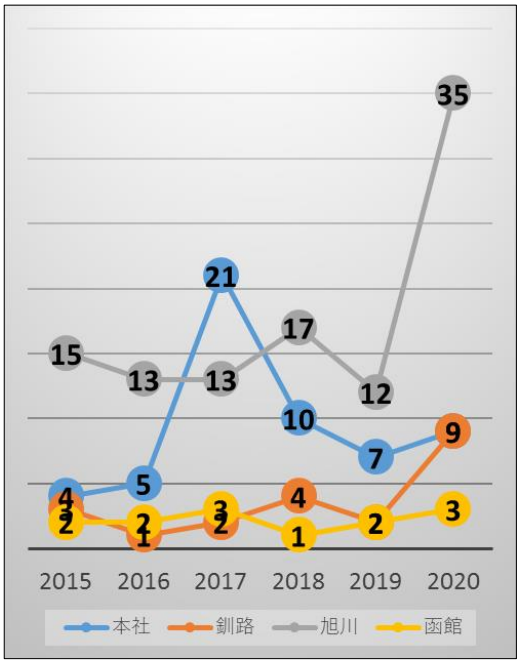
2．本社・支社各年度別　熊発見、衝突件数について

年度	本社	釧路	旭川	函館	計	うち衝突	増減
2015	4	3	15	2	24	18	
2016	5	1	13	2	21	9	△ 3
2017	21	2	13	3	39	32	18
2018	10	4	17	1	32	21	△ 7
2019	7	2	12	2	23	17	△ 9
2020	9	9	35	3	56	41	33
平均	9	4	18	2	33		6

・熊による事象につきましても、ＪＲ発足後最多の件数となりました。
・2017 年度を除き、全ての年度で旭川支社管内での発生件数が最多となっています。
（2020 年度：宗谷線 19 件、石北線 16 件）



＜年度別　熊発見・衝突件数（全体）＞

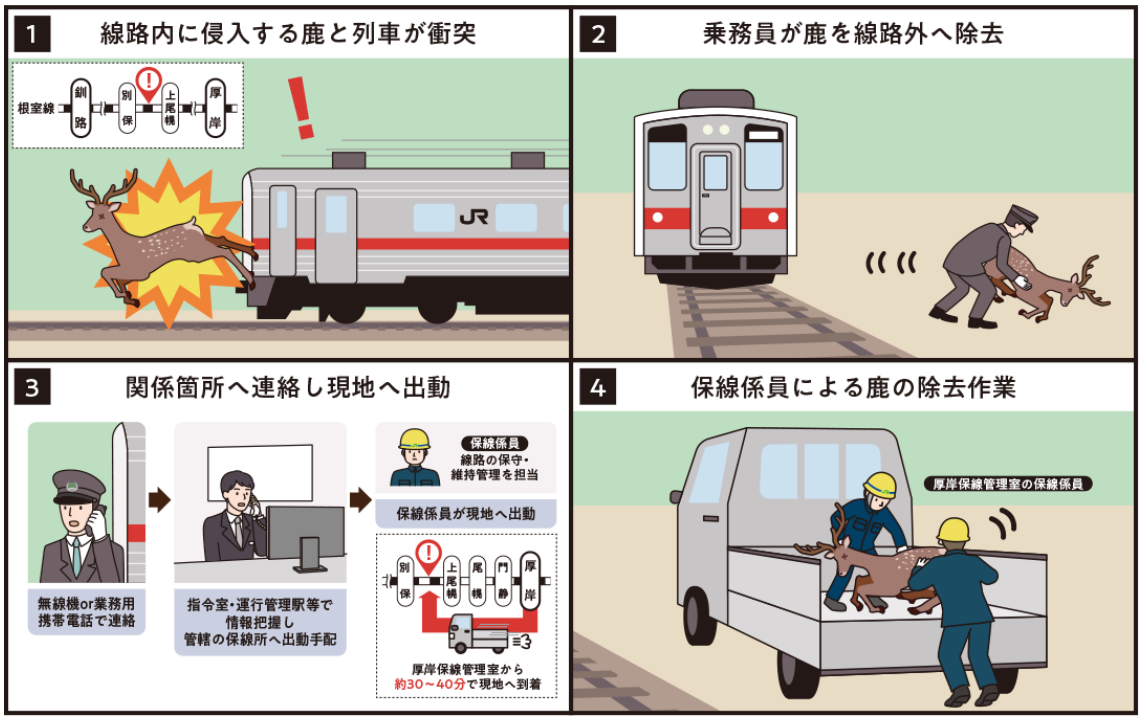


＜年度別　熊発見・衝突件数（本支社別）＞

３．鹿・熊と衝突した際の除去作業について

当社では、列車が鹿と衝突した際、乗務員が列車運行に支障のない場所へ鹿を除去し、列車は運転再開、関係箇所から連絡を受けた保線社員が現地に向かい、衝突した鹿を回収しています。

また、熊と衝突した際には、乗務員やお客様の安全確保のため、車両からは降車せずに車両の中から現地状況を確認し、車両に異状がなければその場から運転再開します。その後、付近に仲間の熊も生息している恐れがあることから、保線係員がハンターを手配し、保守用車を用いて衝突した熊の除去に向かいます。



＜鹿と衝突した際の基本的な流れ（根室線　別保～上尾幌間で発生した場合）＞

上記の例は基本的な除去作業の流れですが、状況によりさらに時間を要す場合もあります。

- 衝突した際、車両の床下に鹿や熊を巻き込み、乗務員だけで除去できない
- 夜間帯の場合は社員の呼び出し等により対応する必要があるため、関係社員の手配に時間がかかる（熊の場合、ハンター手配が必要なときもある）
- 場所により、現場が道路から離れているため、到着までに時間がかかる（冬には除雪を行いながら現地まで向かう必要がある）
- 死骸に「スズメバチ」が群がることがあり、事前に「スズメバチ」の除去が必要となる場合がある
- 死骸の個体が大きいと、トラックへの積み込みにも時間がかかる　　など

列車が鹿と衝突してから除去作業までの目安
- 日中帯、速やかに除去作業を行えた場合　　：**約３時間～半日程度**
- 夜間等、作業完了までに時間を要する場合　：**半日～１日以上**